

実施報告書

HT25226

【プログラム名】みんなで楽しく学ぼう「からだ探検隊1号・2号」



開催日：平成25年8月24、25日

実施機関：長崎大学（医学部保健学科）
（実施場所）

実施代表者：宮原春美
（所属・職名）（大学院医歯薬学総合研究科・教授）

受講生：1号:17人 2号:15人

関連URL：<http://www.nagasaki-sexuality.org/>

【実施内容】

・受講生にわかりやすく研究成果を伝えるために、また受講生に自ら活発な活動をさせるためにプログラムを留意・工夫した点

プログラムは参加型学習を多く取り入れ、一方的な講義形式にならないようにし、説明を加えるときは視覚的教材を多用した。子ども達により目線が近い大学生をピア・リーダーとしてトレーニングし、ピア・エデュケーションで展開した。また受精・着床の過程を体験的に学べるよう子どもが精子や卵子になってロールプレイをするプログラムや社会的なマナーやルールの教育にはピア・リーダーのロールプレイを見て子ども同士がディスカッションできるようなプログラムにした。終了後家庭で保護者とともに復習ができるように持ち帰り教材も準備した。

・当日のスケジュール

からだ探検隊1号(8/24)8:30 受付開始

9:00 オリエンテーション、科研費の説明

9:15 1)男女のからだの違い(パネル)、2)二次性徴とプライベートゾーン

3)射精と月経の仕組み(ペープサート、紙芝居)

1)2)3)の間にはそれぞれ10分の休憩を入れる

12:00 お昼休憩

13:00 4)受精と着床について(パネルとロールプレイ)

14:30 クッキータイム

15:00 5)ふれあいについて 6)まとめ

15:45 未来博士号授与及び修了式

16:00 終了

2号(8/25) 12:30 受付開始

13:00 オリエンテーション、科研費の説明

13:15 1)男女のからだの違い(パネル)、2)二次性徴とプライベートゾーン

1)2)の間にはそれぞれ10分の休憩を入れる

14:00 3)体の清潔について(パネル、モデル人形)

14:45 クッキータイム

15:15 4)いいタッチ、悪いタッチ(ロールプレイ)

14:45 未来博士号授与及び修了式

16:00 終了

・実施の様子



導入ゲーム



からだ違いを発表する



受精・着床のプロセス



二次性徴とプライベートゾーン

<からだ探検隊1号>

対象: 小学5-6年生を公募したが実際に参加したのは小6(3人)、小5(10人)、小4(3人)、小2(1人)の17人

内容: 大学生をピア・リーダーとしたピア・エデュケーションで1) 男女のからだの違い(パネル)、2) 二次性徴とプライベートゾーン(パネル)、3) 射精と月経の仕組み(ペープサート、紙芝居)、4) 人を好きになること、5) 受精と着床について(パネルとロールプレイ)のテーマでプログラムを実施した。アドバイザーとして産婦人科医師も参加した。子ども達は楽しく参加し、また来年も来たいという感想を多く残していた。今年度は養護教諭2人、保健師4人の見学があった。

<からだ探検隊2号>

対象: 発達障害、ダウン症の子ども達15人と保護者が参加した。子ども達の内訳は小5(2人)、小6(1人)、中1(2人)、中2(6人)、中3(2人)、高1(2人)の15人であった。

内容: 大学生をピア・リーダーとしたピア・エデュケーションで1) 男女のからだの違い(パネル)、2) 二次性徴とプライベートゾーン(パネル) 1) 男女のからだの違い(パネル)、2) 二次性徴とプライベートゾーン(パネル)、3) 体の清潔について、4) 私の場所とみんなの場所、5) いいタッチと悪いタッチのテーマでプログラムを実施した。子ども達は楽しく参加し、また来年も来たいという感想を多く残していた。今年度は助産師2人、特別支援学校教師1人の見学があった。保護者の感想から貴重な機会を提供していただき、自宅に帰ってからも教育の継続ができるとの評価をいただいた。現在、1回/年の開催であるため、講座開催を増やしてほしいとの要望も多く寄せられた。

・**事務局との協力体制:** 事務局と緊密に連絡を取り合って事業を推進した。

・**広報体制:** チラシ配布、研修会・講演会などでの紹介、HPなどで広報

・**安全配慮:** 上記講座の参加者は傷害保険に加入し、スタッフは大学の傷害保険に全員が加入していることを確認した。子どもたち一人一人にボランティアを配置した。また大人のスタッフとして実施者のみでなく、医師、養護教諭が参加した。救急薬品は大学に備えてあるものを準備しておいた。

・今後の発展性、課題

現在夏休みのみの開催であるが、教育の継続性から考えると特に障がい児を対象としたからだ探検隊2号は年間複数回の開催が必要と考える。また対象者が多くなっており、対象年齢も分けて開催することも必要である。

佐々木 規子

医歯薬学総合研究科・助教

森藤 香奈子

医歯薬学総合研究科・助教

山本 直子

医歯薬学総合研究科・助教

【実施協力者】 25 名

【事務担当者】

長崎大学・医歯薬学総合研究科 学術協力課 研究協力係 鋤取 龍